

か れ い

嘉例のながれ

江迎小学校 学校だより

平成29年度 第30号

平成30年3月13日(火)発行

文責：校長 立木 昭夫

江迎町では、今月3日より「肥前えむかえ繭玉まつり」が開催されています。4日(日)にそのオープニングセレモニーがあり、来賓として参加しました。この祭りは地域活性化のために、町の人が協力して実施しているものです。年々、名前も知れ渡り、訪れる人も増え、活気のあるものとなってきています。その中に、本校の子供たちもしっかりと参加し、頑張っている姿を見ることができました。



今後、学校は地域との協働を進めていかなければなりません。このような活動をもとにしながら、さらに連携を深めていくように努力してきたいと思います。

<繭玉まつりオープニングセレモニー>



江迎獅子舞太鼓



江迎少年少女合唱団



江迎小茶道クラブ(お点前)

佐世保市長、市議会議員はじめ、多くの来賓の方に見守られる中、本校児童が「獅子舞太鼓」と「江迎少年少女合唱団」の一員として、オープニングセレモニーに登場しました。

まずは、「獅子舞太鼓」。気合いの入ったばちさばきで迫力のある太鼓の音を奏でました。地域の活性化に力を尽くす江迎の人々の気持ちを表しているような力強い響きでした。

次は、「江迎少年少女合唱団」。よくそろったきれいな歌声が会場一杯に広がりました。この日の晴れ渡った天気のように、とても気持ちのよい気分になりました。

セレモニー後には、平戸鎮信流によるお茶の振る舞いがありました。お茶をお出しするのは、本校の茶道クラブの子供たちです。クラブ活動で習ったお点前を披露することができました。この日、一日予定されたお茶券が売りきれのまでしっかり頑張りました。

子供たちが地域の行事に出ることは、とてもすばらしいことです。地域にとっては、時代を担う子供たちがイベントに参加することで、盛り上がりとともに、将来に向けての希望の光ともなります。また、子供たちにとっては、コミュニケーション力や表現力が重視される時代にあって、とても貴重な体験ができるということです。今後も、こういう機会が増えていけばと思います。

<笑顔！アピール大会大成功！！>

3月9日(金)に、「笑顔！アピール大会」を実施しました。5年生の有志で作った実行委



員会が約1ヶ月間、中休みや昼休みを利用して、計画を立て、様々な準備をし、当日の運営を行いました。

大会のはじめに実行委員長からあいさつがありました。その中で、大会を行うためのめあてを述べました。①みんなを笑顔にする。②みんなの夢や頑張りを応援する。③不安や悩みを吹き飛ばす。④気持ちを盛り上げてやる気を出す。この4つです。そして、発表する側の人も見る側の人も、このめ

あてをもって参加することで、幸せなひとときを過ごしてほしいと語りました。

アピール大会で得意なことを発表した人は、総勢40名でした。自分から進んで希望した人たちです。2年生7人での縄跳び発表、3年生4名での音楽発表、1年1組7名での縄跳び発表、1年1組2人での早口言葉の発表、5年生の合奏と歌の発表、1年2組の縄跳び発表、1年1組のサッカーパスの発表、そして、6年生の縄跳びの芸（にゃんこスター）の発表。どれも、堂々の発表でした。一人一人が恥ずかしがることなく、自信をもって発表することができていました。実行委員会のメンバーも低学年の児童をやさしく誘導しながら進行することができました。また、タイミングを合わせて、入場の曲や演技の曲を流すこともできました。

昼休みですので見に来ることは自由でしたが、100人以上の子供たちが見に来ていて、たいへん盛り上がりました。特に、最後の6年生は、みんなを盛り上げるのがとても上手で、元気いっぱい、笑顔いっぱいの中で大会は終了しました。

この大会では、主体的に取り組む力、表現力、企画力、運営力など、これからの時代に求められる力が必要な場面を、多くの子供たちが体験することができました。実行委員の反省会では、今後も続けていくことになりました。次の企画を楽しみにしておいてください。



<集団下校の見直しを検討しています>

本校では、集団下校を毎日実施しています。以前、不審者事案の対応で実施したものがずっと続いているようです。安全面からすれば効果があることですが、不都合な面も結構出てきています。

一つ目は、各クラスの「帰りの会」が集団下校の集合時間に追われ、十分できないということです。学校生活の中での「帰りの会」は、たいへん重要です。一日を振り返る（良いことを褒め、悪いことを反省する）大事な会です。向上心や支持的風土のある学級づくりには欠かすことのできないものと考えています。

二つ目は、マンネリ化と高学年の負担です。掲揚台の前で集合して地区ごとのまとまりで出発してもすぐにばらけてしまっています。意識の問題もありますが、放課後児童クラブや社会体育などに行く児童も多く、自宅に帰る児童自体が少ないという現状もあります。また、そんな状況の中、高学年の児童にきちんと並ばせて帰るよう責任を負わせるのも難しいものです。

安全に関わることで、簡単にやめることはできませんが、PTAや地域の方と相談しながら、週1回の実施にしていきたいと考えています。

